



す 舞 る

special support smile 舞 鶴

発行：京都府立舞鶴支援学校 地域支援センター「トータルサポートセンター（TSC）」

◇ 住所：京都府舞鶴市字堀 4 の 1 (〒624-0812) ◇ 電話：0773-78-3133 ◇ FAX：78-3135

平成 26 年度の相談活動の上半期の中間報告をします。

〈トータルサポートセンター〉

(1) 学校種別の相談・支援件数

総	全 体		保育所・園		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他		特別支援学校	
	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規
	111	66	2	3	1	3	41	42	30	10	4	3	33	5	0	0
計	177		5		4		83		40		7		38		0	

(2) 新規相談の主たる相談内容

新規相談件数	学習（内容・支援の手立て等）	コミュニケーション・生活	就学・進路	支援体制（サービスを含む）	研修について	その他
66	28	33	2	0	1	2

※保育所・園、幼稚園からの相談依頼が少なくなっています。理由としては、舞鶴市の「にじいろ支援システム」の充実により幼児の相談機会が増えたことや「さくらんぼ園」が園訪問を取り組まれていることなどが考えられます。

〈TSC・視覚相談関係〉

(1) 学校種別の相談・支援件数

総	全 体		保育所・園		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他		特別支援学校	
	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規
	13	30	0	3	0	0	7	17	4	6	0	0	1	3	1	1
計	43		3		0		24		10		0		4		2	

(2) 新規相談の主たる相談内容

新規相談件数	学習（内容・支援の手立て等）	コミュニケーション・生活	就学・進路	支援体制（サービスを含む）	研修について	その他
30	21	3	0	0	1	5

※相談場所の移動（行永分校から北吸分校）の関係で、相談活動が軌道に乗ったのが7月からでしたので相談件数が前年度に比べて上半期は少なくなっています。

相談支援チーム会議&シンポジウム

8月20日、「各ライフステージにおける支援の現状と移行」をテーマに「相談支援チーム会議&シンポジウム」を本校で開催しました。本校の相談支援チーム委員をはじめ各関係機関からの参加も含め、約40名で実施することができました。各関係機関からの報告に続き、専門家の先生からの御提言もいただき、ライフステージごとの支援状況の把握とこれからの課題について話し合いました。協議の中では、舞鶴市における各ステージの支援システムが整ってきていることやステージ間の移行が今後の課題であることなどを確認しました。

支援に関わる人たちが一堂に会することで「顔の見える関係」が生まれ、お互いの存在を確認するとともに、自らの存在意義についても再認識する機会になったと思います。「切れ目のない支援」「隙間のない支援」を更に構築していくことで、障害者権利条約の基本理念である「インクルーシブな社会」の実現につながっていくのではないかと考えます。

～参加者の感想（一部紹介）～

- 各機関の取組がよくわかり、大きな支援システムの一部を担っていることの実感しました。特に、教育的期間を担う校種間連携の必要性や移行の実際についての重要性を再確認しました。現在の個別の教育支援計画等の文書は子どもを観るための手がかり、指導・支援の際の計画として大切であるが、当然支援ツールとしての役割にも目を向け、工夫改善を行っていくべきだと考えます。
- 今日は大切な、良い機会を作っていただきありがとうございました。舞鶴の中でライフサイクルを通して、発達支援に関する取組状態を理解できる機会はこれで終わらず、継続していただけるとありがたいと思います。特に、シンポジウムでは実態的な報告を聞かせていただき、視野が広がります。
- 他機関との連携を含め、ライフステージを横断的に考え、一同に集まる機会はなかったので、画期的な取組だと思いました。次年度、このような機会がある際には、高校からの御出席やお話しも聞いてみたいです。

夏季研修講座の報告

授業改善講座「子どもが喜び、力をつける“読み書き指導”の展開」

8月8日、本校、淀井教諭を講師として「授業改善講座」を本校で開催しました。今回で5年目となるこの講座ですが、今年度は「読み書き指導」がテーマでした。

～受講者の感想（一部紹介）～

- 私は通常学級で支援の必要な児童についています。算数、理科は得意で国語は苦手だと本人も言っています。毎日、書くこと、読むことに試行錯誤で支援してきました。本日の研修講座を参考にさせていただき、全体の中でどこまで支援できるかわかりませんが、その児童が自信と意欲を持てるように2学期から取り組みたいと思います。
- 子どもの顔を思い浮かべながらあれもしたい、これもしたいと思って聞いていました。特に1年生担任なので、ひらがなが、なかなか習得できていない児童を思い浮かべました。ある程度覚えると「へそのへ」、「ろけっとのろ」と思い出して書いている姿はまさに意味（表意文字として）をつけて覚えているのだなと感じます。それまで苦労させたなと反省しています。特に1年生の担任には聞いてほしい講座でした。
- 学習は“間違いを減らすことではなく、できることを増やすことだ”というお話がとても印象的でした。子どもはわかったこと、できるようになったこと使えて喜びを感じるのだと思います。子どもたちが持っている力を生かしながら新しい力を持てるように授業、教材を工夫したいと思いました。

